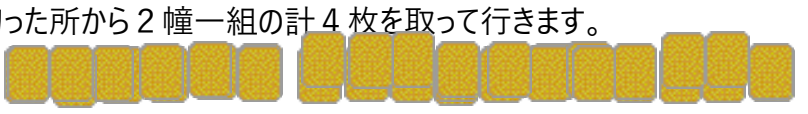
## ７．牌を取り出す

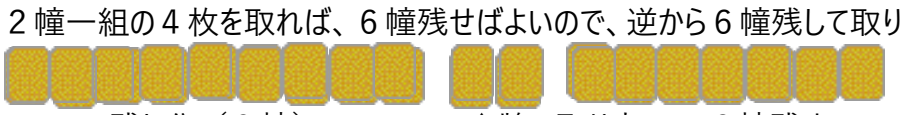
親の東家がサイコロを振り、サイコロの目に該当する場所から麻雀牌を取って行きます。
サイコロの合計が６だったら、下家の牌山からの取り出しになり、親は自分でサイコロの合計と
同じ数の６幢を牌山の左側（牌山の前の人から見て）から残して区切り（二段なので計１２枚）、
区切った所から２幢一組の計４枚を取って行きます。



残し分　　↑牌の取り出しは、ここから

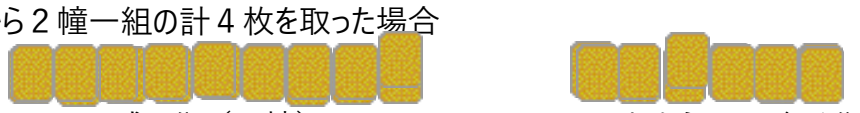
２幢一組の計４枚を取って行きます。

牌山を区切る時は、２～８まではそのまま数えて区切り、９からは逆から数えて区切ります。
９の場合、１７幢積まれていますので、逆から数えれば８幢残せばよいことになりますし、
そこから２幢一組の４枚を取れば、６幢残せばよいので、逆から６幢残して取ります。



残し分（９幢）　　↑牌の取り出　　６幢残す

牌山から２幢一組の計４枚を取った場合



残し分（９幢）　　これから取って行く分

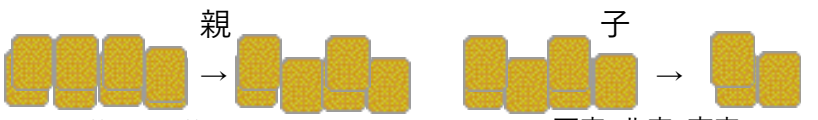
牌の取り出し分から、９は６残し、１０は５残し、１１は４残し、１２は３残しになります。

次に、麻雀牌を親の東家が２幢一組の計４枚を取ったら、
子の南家→西家→北家と牌を時計回りで同じように２幢一組を取って行きます。
これを３回繰り返します。

×３回

北家　西家　南家　東家

３回取り終えたら、親は上段の牌２枚を途中に１枚残して取り、子は１枚ずつ牌を取ります。




１枚　　１枚　　西家・北家・南家

これで、親の東家な麻雀牌を１４枚、
子の南家・西家・北家は各１３枚ずつ持っていることになります。
牌山から取り出してきた牌（親１４枚・子１３枚）を配牌（ハイパイ）といいます。